

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんданて		
○保護者評価実施期間		2025年2月3日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間		2025年2月3日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間		2025年 1月 18日	～
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な訪問支援員が配置されている。	集団生活において必要な支援や関わり方を、より具体的に簡易な言葉で保育の中ですぐに活用できそうなことをお伝えする。	日程調整は早目に行い、活動内容を確認し訪問先施設のご迷惑にならないように実施できる様に取り組む。
2	訪問先施設との信頼関係が構築されている。	一人の子どもをたくさんの大人が関わる事の感謝の気持ちを伝える。 些細な事でも情報共有する。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の配置が少ない。	訪問支援員として訪問先施設に信頼していただけるだけの経験値や学びがまだ少ない。	日々の療育の振り返りや研修を通して経験を増やし、学びを深める取り組みを行う。
2	訪問支援員配置が少ないため、訪問支援の実施が2～3か月に一度になってしまふ。	訪問支援の実施が頻回に行えない分日常的な情報共有は丁寧に行うようとしている。	日々の療育の振り返りや研修を通して経験を増やし、学びを深める取り組みを行い、訪問支援員の育成に努める。
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		あんだんて						
		公表日 2025年2月28日						
		利用児童数 15 回収数 11						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			5		訪問支援に教具教材がどの程度必要なか検討する。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8			1		面接室として使用している部屋があるが、プライバシーに配慮するように工夫する。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11					
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	11					
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	10			1		支援計画に訪問支援先の担任等の意向を十分に盛り込まれているのか確認します。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1		3		保護者に保育所等訪問支援ガイドラインの内容をお伝えする機会を設けます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1	・保育所の様子は、中々見れないでの、過ごし方や様子、困っている所などが知れて良かったです。	保育所等訪問支援計画の具体的な内容を、明確に伝える様に取り組みます。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	10			1		訪問先施設にどの様な配慮を行っているのか、具体的に伝える様の取り組みます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1		支援内容を分かりやすく説明できる様に取り組みます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11				・ペアレントプログラムに参加して、子どもや自分を見つめ直すことができて、前向きな気持ちで毎回参加できた。他の保護者の型と困りごとや取り組みを共有できて良かったです。	
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思っていますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				・子供に対する接し方など分からない時は、いつもアドバイスを頂き、助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10			1		訪問支援の内容について具体的にお伝えできる様に取り組みます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9			2		訪問支援を実施後に速やかに適切に情報共有できる様に取り組みます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			2		連絡体制や業務に関する自己評価の結果を皆様が受け取りやすい方法で発信できる様に検討します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
満足度	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようになっていると思いますか。	9			2		訪問先施設と緊急時の対応について連携できる体制作りを行います。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		子どもの安全を確保する計画の周知ができる機会を設けます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11				・いつも笑顔で行っています。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	11				・大きな成長を感じることができ、大満足です。	

## 公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2025年 2月 28日

あんданて

利用児童数 2025年 2月 22日 回収数 10

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの特性をとらえ、個々に対する関わり方を教えていただいたので、ありがとうございます。</li> <li>いただく言葉に助けてもらっています。細かい所まで丁寧にアドバイスしてくださいます。</li> <li>環境や活動内容を見て、説明して頂き、一人ひとりの課題への向き合う姿勢があり、分かりやすかったです。</li> <li>事業所での様子など細かく教えていただき、園で見られない姿も知ることができて良かったです。</li> <li>丁寧で分かりやすく助言やアドバイスを頂き、すぐに取り入れるようにしています。</li> </ul>	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の方法、特性など丁寧に教えてもらえるので保育に活かすことができる。</li> <li>どんな悩みにも分かりやすく、的確で教えて頂けたことは、保育に取り入れています。</li> <li>満足しています。</li> <li>たくさんの知識を教えていただき、学びが多くありました。</li> </ul>	満足いただけなる様に。必要な知恵や技術の習得に努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時に相談できるので連携が取りやすい。</li> <li>いつも丁寧に回答していただいている。</li> <li>子ども一人ひとりの課題に対して詳しく応えて頂きました。</li> <li>毎回、質問に対して丁寧に教えて頂きました。</li> <li>行事中だったこともあります、適時ではなかった。</li> <li>とても分かりやすいです。</li> </ul>	訪問の日程調整は訪問先の都合に合わせて、活動内容も吟味して調整を行うように致します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所での困りごとをあんданてでも対応を考えていくという返事をもらい安心した。</li> <li>連絡を取りながら又、アドバイスを頂ける。何より、相談できる所ができ、保育士も安心できている。</li> <li>情報交換できたことで軽減された。</li> <li>一緒になって考えてくださり、とても有難かったです。</li> <li>専門的なことなどを丁寧に教えて頂き、学びとなっています。</li> <li>軽減が目で分かり、本児たちも保育所で過ごしやすくなったと思います。</li> </ul>	訪問先の施設とこれまで以上に情報共有を行い、支援方法と一緒に考えていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎があり、時間帯も子ども達が十分に満足して帰ってくるのでありがとうございます。</li> <li>相談もしやすく、楽しそうに通っている姿を見て、嬉しく思っています。とても満足です。</li> <li>満足しています。</li> <li>たくさんの活動を取り入れており、園ではできないこともあります、とても成長を感じました。</li> <li>満足しています</li> </ul>	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、保育所、行政（市）、療育施設の連携で保護者が子育てに困り、保育所も療育に繋げたいという思いが一致しているときに繋げるまでに時間がかかった。その点の解決ができたらいなと思います。</li> <li>いつも丁寧な支援をありがとうございます。情報提供ができるとても助かっています。引き続き、よろしくお願いします。</li> <li>すぐに相談ができ、アドバイスを頂けるので、有難いです。子どもも安心して通えたのではないかと思います。</li> <li>園の様子を見て頂いたり、事業所の様子を見せて頂けたりと連携を取ることができ、とても有難かったです。保護者支援も相談しながら、進めることができたので良かったです。</li> <li>送迎の際に、先生方とも話すことがあります、幼稚の姿を教えてもらい、とても有難かったです。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>療育に繋がるまでの経過や取り組みについては地域の保健師や保護者、幼稚園、保育所などの意見交換を行い、スマーズに療育につながる様に地域と主に考えていきます。</li> <li>訪問日程については訪問先の活動内容を確認して訪問支援を実施してもよいか再度確認して訪問支援を行います。</li> <li>今後も訪問支援を利用したことで課題や困りごとが解消できる様に研鑽を積み上げていきます。</li> </ul>		

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		あんだんて			
		公表日 2025年2月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制・整運備営・	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		○		訪問支援に必要な教具教材を検討する。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			第三者による外部評を定期的に行う。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		訪問支援に関する支援方法の伝え方や発達の視点などの研修を行っている。	
	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保育所の集団での活動を参観させていただき支援計画を作成している。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		常に職員全員で検討する様にしている。	
適切な支援の提供	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			訪問先施設の担当との連携を深めて、意向を盛り込める様に取り組む。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問支援が定期的に実施できる様に計画を立てている。	
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			訪問支援として集団活動の参加について具体的にアセスメントを実施したい。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		どんな目的で訪問支援を行うのかを伝えている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問支援後は速やかに報告し、情報共有している。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先施設に感謝の気持ちを伝える様にしている。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問支援実施後保護者に報告し、集団活動の様子を情報共有している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			訪問支援後に気になることなどは積極的に連携を行うようにする。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		就学後も訪問支援を継続されるご家族が多いので、積極的に相互理解を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			自立支援協議会に参加できる様に日程調整を積極的に行う。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		ペアレント・プログラムを実施している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			訪問支援に関しての家族の意向を丁寧に確認していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		どんな相談も随時受け付けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		出来るだけ迅速に相談や申し入れに対応する様にしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		意思の疎通や情報伝達のための支援を訪問先施設の担当者と一緒に考える様にしている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>		随時受け付けている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		出来るだけ迅速に共有を行い、記録を提示している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>		信頼していただける様に、丁寧に分かりやすく助言する様に心がけている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		<input type="radio"/>		出来ている事と出来ていないことがあるので年間計画の通りに実施する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		どんな場合が虐待に当たるか事例を基に研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		<input type="radio"/>		児童発達支援計画への記載が不十分なので、5領域を確認して記載する。